博物館 topics

那覇市歴史博物館企画展
年の初めの錦絵展～琉球で見る江戸文化の華～

那覇市に寄贈された横内家資料の中には、約300点の錦絵が含まれています。錦絵は多くの色で刷られた木版画のことで、浮世絵とも呼ばれます。葛飾北斎らが活躍した江戸後期が最盛期でしたが、明治以降にも西南戦争など社会的出来事を知らせるメディアとして大きな役割を果たしていました。

横内家資料の錦絵は、幕末から明治30年頃の間に制作されたもので、女性や子どもが描かれた作品を主としたコレクションです。その中には、明治期に活躍した絵師楊洲周延（ようしゅうちかのぶ）（1838～1912）の代表作の一つである『千代田の大奥』シリーズがあります。幕府の行事などを取材した江戸懐古的なこのシリーズは、明治の人々の人気を得ました。

そのほか女性教育に取り入れられた子女の礼式（作法）や和洋折衷のファッションなど、新しい時代の女性の姿が生き生きと表されています。特に、明治十年代に流行した中国（清朝）楽器での合奏や、中国風の調度品も描かれていることから、西洋や中国の舶来品に親しむ幕末・明治の世相が感じられます。

今回の企画展では、美人画を中心とした錦絵を紹介いたします。新春を彩る華やかな女性達の姿をご覧ください。

▶「千代田大奥御花見」揚州周延 明治27年

期　1月6日(月)～3月12日(水)
費　一般 300円

国宝尚家衣裳1月の特別展示
「松竹梅が描かれた紅型衣裳」
期　1月6日(月)～2月5日(水)

那覇市歴史博物館
那覇の歴史・文化を体感！

開館時間 10時～19時　木曜休館　☎869-5266

コラム：壺屋の歴史～焼物が生まれる場所～

壺屋は1682年に知花・湧田（現：那覇市泉崎）・宝口（現：那覇市首里儀保町）の窯場を統合する形で、焼物の一大産地として誕生しました。

戦後壺屋の陶工たちは、生活必需品の碗や皿、壺の生産再開のため、誰よりも早く収容所から戻りました。そのため戦後の沖縄の復興は壺屋から始まったとも言われます。しかし、戦後復興の地として発展した壺屋は現在のように住宅街となり、しだいに登り窯から出る煙が煙害として問題視されるようになります。1974年に登り窯の使用は停止されましたが、ガス窯など周りに影響が出ないような形で壺屋での生産は続いています。登り窯に強いこだわりをもつ陶工たちのなかには壺屋を出てその伝統を守る人たちもいますが、窯場の統合による壺屋の成立から現在まで、330年余り焼物の産地として活動し続けています。

▲入市当時の壺屋の配給所（1945年頃）

▲にぎわいを見せる壺屋（1950年代）

壺屋焼物博物館
当館は空調設備取替え工事のため12月9日(月)から2月下旬にかけて休館を予定しております。なお、工事が完了次第開館いたします。ご了承ください。
☎862-3761
FAX 862-3762

協働さん いらっしゃい！

市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第34回 興南高校JRCインターアクト部

1985年に発足し、28年の伝統を誇る「興南高校JRCインターアクト部」は、地域のことを知り、地域のために貢献したいという思いをもちボランティア活動を行っています。現在は1年生6人、2年生8人の14人で全員女子部員という構成です。

活動内容は、街頭募金ボランティア、福祉イベントへの参加などの他、多岐にわたりボランティア活動を行っています。部長の宮里彩花さん（2年生）は「初めて行った募金活動では、募金をしてくれる人は少ないと思っていたのですが、多くの人が募金してくれて、その上『がんばってね』と声を掛けてくれたときは、本当に嬉しかったです」と体験談を話しました。また別の2年生は、「学校内でも昨年からエコキャップを回収してアフリカにワクチンを送るプロジェクトにも取り組み、もうすぐ目標の数に到達できそうです」と話してくれました。

そう語る2年生も、入部した当初は控えめであまり表に出ない生徒だったそうです。しかしボランティア活動を通し、多くの人との触れ合いの中で行動力、積極性が身に付き「自主的に動く」ことができるようになったそうです。そんな先輩を1年生メンバーは「はじめてのボランティア活動に不安や戸惑いもありましたが、先輩の行動力や積極性を見て私たちも励まされています」と信頼をおいています。

興南高校JRCインターアクト部

積極性を身につけた“南を興す”うちなーんちゅを目指して

そして今、このメンバーが熱く取り組んでいるのが、ブーゲンビレアを育て、地域の方や観光客へプレゼントする「ブーゲンビレアでめんそーれーコツコツ☆FlowerProject」です。この企画は地域の方々と交流をするきっかけとして「那覇市の花」であるブーゲンビレアを自分たちで育て配布することで地域貢献を行うものです。顧問の先生は「那覇市にある学校ですし、那覇をPRしたいという思いからブーゲンビレアに決めました。7月には今帰仁村で栽培指導を受け、挿し木から育て始め現在200個ほどが花をつけ始めています。1月から地域の皆様に配布をしていく予定で、生徒たちもとても楽しみにしています」と、話してくれました。

JRCインターアクト部は、多くのボランティア活動を通し「〝南を興す〟うちなーんちゅ」を目指して、頑張っている皆さんでした。伝統ある活動が先輩から後輩へと引き継がれ、多くの笑顔が広がっています。

お問い合わせ　まちづくり協働推進課 ☎861・3846

歴史まーい

那覇市指定有形民俗文化財

「旧御茶屋御殿石造獅子」

御茶屋御殿（別称東苑）は、国王が遊覧され、外国の使臣を招いて宴などが開かれた王家の別荘です。『南島風土記』（一九五〇年）には、前川家家譜によると、一六七七年、伊舎堂親方守浄が普請奉行となり、建設されたと記されています。

玄関前約四〇mの岩陰にあった石造獅子も、同じころにつくられたと考えられています。しかし、沖縄戦によって破壊され、一九七九年に戦前の写真をもとにして修復され、今日に至っています。石造獅子は冊封使汪楫が初めて紹介し、周煌の『琉球国志略』（一七五六年）には、「山の岩に『霸』の字のような梵字を掘り込み、石獅子がその下の岩陰に座っている。下には小さな四角い池があり、石でつくられた龍の口から、水が激しく湧き出てくる。その池の中には金魚が飼われている。前にはたくさんの竹が、後ろには古い松が数十株もあって、それらに趣があって美しい」と記され、石造獅子とその周りの情景を伝えています。

もと石造獅子のあった岩陰は、がけ崩れの恐れが生じたため、現在は、崎山公園内の雨乞嶽側に移してあります。

お問い合わせ　文化財課 ☎917・3501

うちなーぐちや あじくーたー

〈今月のテーマ〉
きぶさん

ロケ地：首里金城村屋

「きぶさん」とは煙りが鼻や眼を刺激して違和感を感じること。ひどい時には息苦しくなること。

昔は、慣れない人（若いお嫁さんなど）が煮炊きすると薪（まき）のくべ方が悪かったり、また、薪が青かったりして燃え方が悪いと、「きぶしが、きぶさんどう」と敬遠されたものでした。

（例文）
夫ーどうく煙さんねーすしが？
妻ー隣ぬ家が、秋刀魚やちょーるぐとうどうあんでー。
夫ーあんどうやるい、くぬぐるや、たむん使いしえー をうらんぐとう、きぶさいねー、火事とうばっぺーてぃやがてぃ消防署んかい電話するとうくるやたさ。

（和訳）
夫ーあまりに煙りぽっいが？…
妻ー隣の家で、秋刀魚を焼いているようですよ。
夫ーそうなんだ、近頃は薪を使う人がいなくなって煙が出ると火事とつい間違えてしまうね。消防署に電話するところだったよ

〈出演〉
金城町老人会　会員　堀川恭宏さん（左）
敏子さん（右）

【お問い合わせ】
那覇市文化協会 うちなーぐち部会　比嘉朝文、名嘉山秀信　☎090・4347・8798

広告
放送大学 30th Anniversary
放送大学大学院

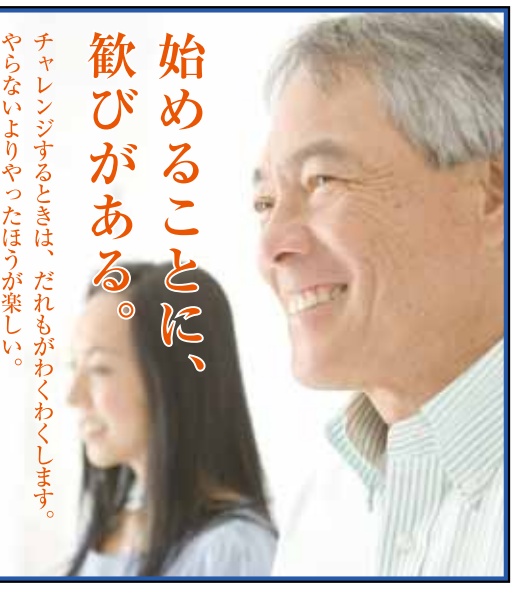
平成26年度
4月入学生募集中
平成26年 2/28(金)まで
郵送・インターネットで出願受付

入学試験はナシ！
負担の少ない授業料で学べる！
インターネット・テレビで学べる！
大学卒業の資格を得ることができる！

資料請求 0120-864-600
放送大学 検索 www.ouj.ac.jp
放送大学は、放送大学学園（文部科学省・総務省所管）によって設置された正規の大学です。

10代～80代まで約1500人が在籍する
沖縄学習センター
（琉球大学構内:地域国際学習センター棟4・5階）

始めることに、歓びがある。
チャレンジするときは、だれもがわくわくします。
やらないよりやったほうが楽しい。
自分の興味に合わせ、1科目から学べる大学だから、
人生を楽しむ時間が大きく広がります。



TEL:098-895-5952　〒903-0129 西原町字千原1番地　個別相談随時受付中／10:00～17:00（月曜・祝日休館）